

人生ハンド仏句

継続は力なり

位職 谷川寛俊

第143号

H. 26. 2. 1
(毎月1日発行)

「人生ハンド仏句」

と打ち込んで頂けば、
ホームページにつなが
ります。

編集・発行
玉蓮山 真成 寺
編集部 谷川久仁子
TEL・FAX 0765-22-2268

との力強く有難い返事をもらい、
なんとか今日まで続けてこられま
した。

これもひとえに愛読して頂く檀
信徒の皆様の励みに押されての賜
物と信じます。
どうぞ今後ともご支援ご協力のほ
ど宜しくお願い申し上げます。



限りある人生だからこそ
今日 そして 今に打ち込み

昔から一月は行く月、二月は
逃げる月、三月は去る月という。
つまり時間の過ぎる速さを実
によく表現していると思います。
とくにお寺は暮れからお正月が
忙しい。あつという間に一ヶ月
が過ぎます。

お蔭様で、ハンド仏句も今月
号で一四三号、一度も休まず十
二年間続けてこられました。

これもひとえに「毎月楽しみに
していますヨ」「大変勉強になり
ます」等々のお言葉を励みに続
けてこられたものと、スタッフ
一同心から感謝を申し上げます。
今月号は、そのハンド仏句作
成までの裏話を少々お聞かせし
ようと思います。

毎月の原稿〆切日は一応二十日
となつていますが、正直言つ
て締め切りまで提出したことがあ
りません。いつも月末ギリギリで
す……(苦笑)

そうなるかと作成者でありお寺の
大黒さんである久仁子編集長が、
毎月一日五時の朝勤参詣者(ちようこ
んさんけいしき)の皆さんに間に合うよ
うにする為に、夜中の二時、三時
頃まで(時には徹夜して)パソコ
ンに向かつて打ち込み、編集作業
です。(お察しく下さい……)

本当に陰ながら合掌するのみです。
以前、毎月は大変だから季刊(春・
夏・秋・冬)にしたらどうかと提
案したのですが、「ここまで休まず
続けてこられたのだからこれから
も続けましょう！」
このハンド仏句を待っていて下さ
る方がいらつしやる限り頑張りま
しょう！一回休むと続けられなく
なるような気がするから……」

お釈迦様御涅槃会

しゃかさまおねはんえ

お知らせ

(団子まき)

・二月十五日(土)

・午前十一時より

どうぞお誘い合わせの上お参り下さいませ。

今月のお給仕(お講当番)は、

松倉・大光寺の方々です。

宜敷くお願いいたします。



お団子づくり募集

(お釈迦様の涅槃団子づくり)

とき …… 2月9日(日)

午後1時〜

場所 …… 宝やさま工場

皆さんで、涅槃団子と一緒に作りませんか!

参加される方は、お寺までご連絡をお願いいたします。

直接いかれるか、お寺に集合して、車に乗りあつて行きます。

大変な功德を積まれること間違いなしですね。

本堂屋根瓦改修工事

のお知らせ

平素は、真成寺に対して甚深のご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、兼ねてよりご指摘頂いておりました本堂の屋根瓦改修工事を今年の三月に着工する運びとなりました。これは現在の瓦葺き屋根の損傷が激しい事と、今後自然災害(地震等)における危険性を考慮し、銅板葺の屋根に致します。実は数年前、心ある檀家さん等から「土台の損傷が激しく、瓦屋根がズレてきている。いつ瓦が落ちてきてもおかしくない状況だ」と危険性を指摘されました。また、総代さんの間でもチラホラと話題に。そんな矢先、四月から消費税が八%に引き上げられる事が法案で決定し、急を要する事態となりました。総工費は、四千二百万円の予算です。

本堂は皆様の大切なご先祖さまや、仏様のいらっしゃる場所。

どうぞこの機会に本堂の大切な改修工事の一端に関わられますことをお勧めいたします。勿論これは強制では御座いませませんが、一人一人の気持ちが集まって完成される本堂ほど理想的な姿はないでしょう。

真成寺檀信徒の皆様のご理解ご協力を、心よりお願い申し上げます。

合掌

住職 谷川寛俊

◎水子供養会

・毎月十三日

・午後一時半より

◎唱題行脚実施中

・毎月二十八日

午後一時半

先月の参加者

谷川寛俊(住職)・谷川寛敬(副住職)

伊藤宗治・高田富美子・土居可久子

谷川まり子